

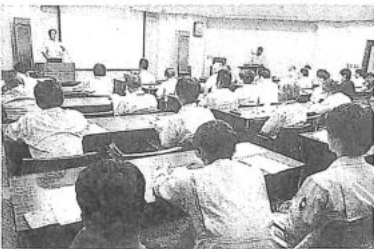
# 経験共有で診断力向上

## 県コンクリート診断士会

技術交流会を開催

福井県コンクリート診断士会が開催する毎年恒例の技術交流会「会員によるコンクリート診断事例の発表」がこのほど、鯖江市の響陽会館で行われた。

石川裕夏会長は冒頭のあいさつで、技術交流会の目的にふれ「交流の素地を生む技術者間のネッ



トワークを育み、業務経験を共有することによる診断能力の向上を目指す」などと述べた。写真。

続けて、会員が自身の業務における経験などを踏まえながら、それぞれの事例について丁寧に説明を行った。その後、質疑の時間も設けられ、参加者は技術向上や発展の追求に向けて、熱心に学んでいた。

発表されたテーマは次の通り。

▽既設橋梁歩道拡幅設計の事例（帝国コンサルタント 上田哲也氏）  
▽外観目視調査による鉄筋腐食の推測（デルタコンサルタント 加藤

俊幸氏）

▽広帯域超音波法によるグラウト充填調査と漏洩磁束法によるPC鋼材破断調査（日本ピーエス 栗原勇樹氏）

▽支承取替の補修設計事例（ジビル調査設計株式会社 竹内洋平氏）

▽座標管理による目視調査の精度向上と簡略化（M・T技研 山川博樹氏）

▽コンクリートの顔色（宇部三菱セメント株式会社 岩本春美氏）